



ここに銀のフォークが
2本あります
同じように見えますが
それぞれに弾くと…

片方だけ音叉の様に
繊細に響きます
又、両方に力を加えて
みると…

葛飾ブランド「葛飾町工場物語」

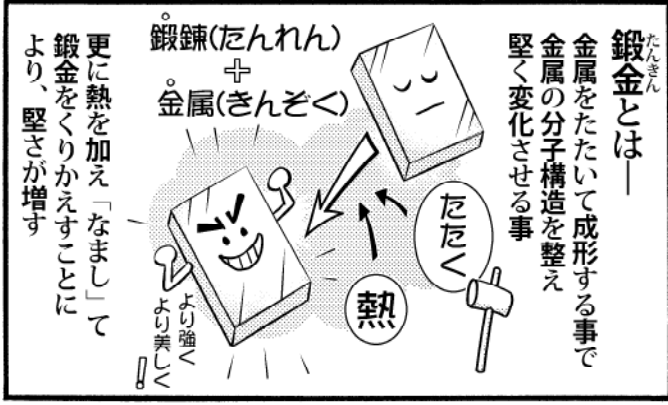
「伝統の技術」と 「最新機器の導入」 で光輝く ～銀製カトラリー～ 上田銀器工芸株式会社

このように
ゆがんでしまわず
先程美しい音で鳴った
こちら
上田銀器工芸株のフォークは
元のまま！

ホラ！

来風作

使い易くて、丈夫な
秘密は…
「鍛金」にあります



更に熱を加え「なまし」て
鍛金をくりかえすことに
より、堅さが増す

鍛金とは—
金属をたたいて成形する事で
金属の分子構造を整え
堅く変化させる事

上田耕造 社長

国(平2年)、東京都(平6年)
葛飾区(平10年)より、それぞれ
伝統工芸士として認定
優秀技能賞 受賞(平成10年)
黄綬褒賞 受賞(平成12年)
その他受賞多数

大正15年に事業所を
創立した父は
伝統技術を持った
鍛金師^{たんきんし}とよばれる
銀器職人でした

父の元に16歳で
入社した私は父から
金工技法を学び…

また時には
職人一貫肌だった
父の「フオロー」も
したものですー

問屋の奥様
お許し下さい
頑固な父が失礼にも
お断りしましたが
ご希望通り納品
できる様僕がやつて
みます！ だから
仕事をうちに下さい

まあ、学生の
あなたが？

わかった、お願いするわ
…上田くん…あなた
日本の銀器職人に
ならなきゃね？

はいっ

ポン

思えば、
あの時

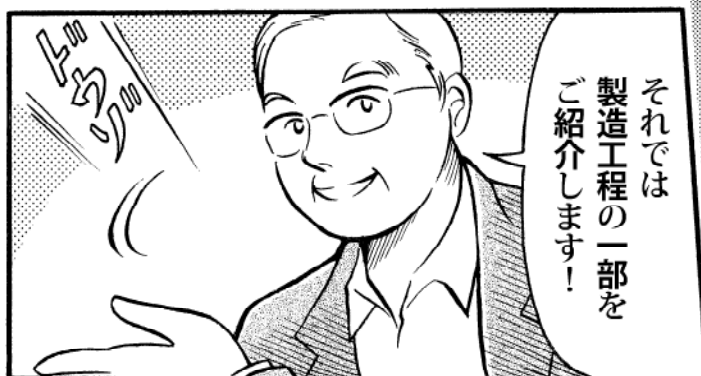
私は銀器の道の
頂点を目指す！と
決心したのです

昭和50年に社長に就任し
現在我が社は、国指定の伝統工芸である
「東京銀器」を代表する会社です

数多くのマスコミから
注目・取材をうけたりー

Ueda Industrial Co., Ltd.

上野区堀江1-1-1 東京銀器株式会社



多くのご支持を
いただきながらも
匠の技の継承だけでなく
常に時代に合った
新たな要素を
取り入れていかねば
更なる会社の発展は
出来ません



材料

材料は純銀と銅の合金のシルバー925

業者に依頼し、板状にして使う

銀の比率が92.5%

シルバー925は又夫で金属製品に最適な合金

鏡のようにヒカヒカの板状に加工

純銀が何でも一番良い材料だと思っちゃダメだよ

いいかい

パワープレス

銀の板状からプレスで型抜きしてその後熱を加え焼きなまして

鍛金

フォークやスプーンは柄の根元部分を特に堅くする(機械作業で施す場合もあります)

フレクション・プレス

柄部分の模様を打ち出す加圧の具合を微妙に、足のペダルでコントロールできる

バフ研磨

回転するバフで磨きをかける用途に応じ様々な大きさのバフを使い分ける

カベにかけられたたくさんのバフ!

「鍛金」

「フレクションプレス」「バフ研磨」は特に手の感性が重視される職人芸! 私は誰にも負けませんよっ

高周波ろう付け機

ナイフの場合は
これで柄と刃の部分を
「ろう付け」します

昔ながらの鉛を使つた
ろう付けと異なり
お口により安心！な
鉛不使用、銀ろう付けの
機械になります



ちよつと脱線！ここだけで教える…

ナイフのひびく

ナイフは、フォーク・スプーンと異なり
力が入り易い重さを出すために
柄の中に砂や石膏が入っている
(銀の無垢だと高価になるため)

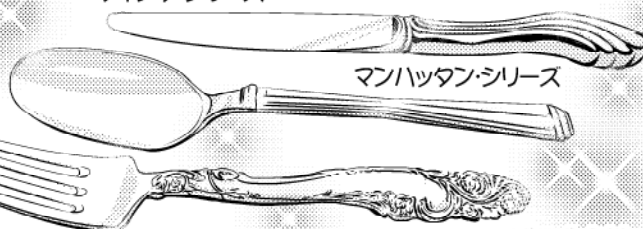
最も使い勝手良く
更なる耐久性を
追求した結果



企業
モットー

現在特別な
材料を入れて
います！

ウイング・シリーズ



マンハッタン・シリーズ

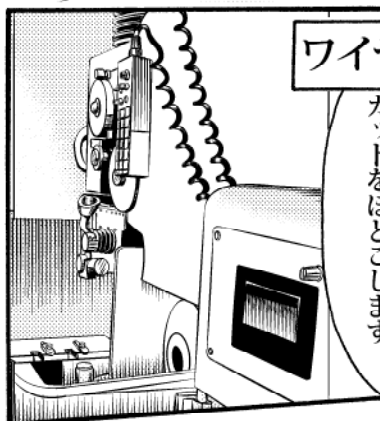
フルール・シリーズ

様々な工程と
特別な技術を使い
銀製カトラリーは
完成します

この業界で
社内一貫生産を
しているのは国内で
上田銀器工業(株)
だけです！

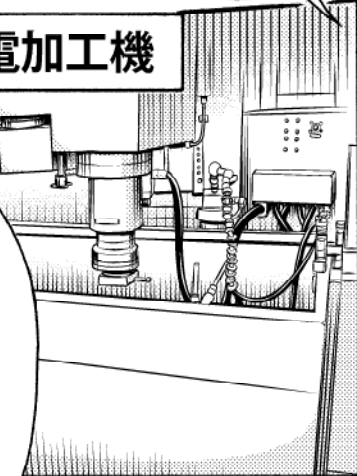
ワイヤーカット

パワープレスで使う金型は
このマシンで作ります
鉄の塊に、繊細な細かい
カットをほどこします



型彫り放電加工機

フレクションプレスの
柄装飾部の金型は
こちらのマシンで作ります
型彫り用の電極も
殆ど自作しますよ



ナント

機械好きな社長は型も自社で作る為、マシンを導入！



デザインテーマごとに
30〜40種のフルセットを
揃えるためには、沢山の
金型が必要になります
ごらん下さい！

これらは我が社の財産です…
歴史ある全ての型、その他を
この部屋で保管しています
(皇后様の御紋刻印も…)



金属の中で銀は
もともと光の反射率が高く
光輝いてー

抗菌性も
非常に高いことが
知られています

生まれた赤ちゃんに
銀のスプーンを贈る
のは有名ですね
丸みを帯びた
ベビーカトラリーシリーズも
人気です

金型を含め、生産工程を
すべて社内で行うことで
価格も抑えています

なにより私は
ごく一般の方々にもっと！
本物の銀食器に
親しんで欲しいのです

お名前の刻印も
入れられます

キングリチャード・シリーズ

欧米では家族代々大切に使われ
伝えられてきた銀食器
物を大切にする心のある日本こそ
そんな風習をぜひ取り入れて
いただきたいと思います

銀製カトラリーを持つ手から
伝わる、時を超えた豊かで
贅沢なひとときを：私たちが
上田銀器工業(株)はこれから
皆様に提供してまいります！